

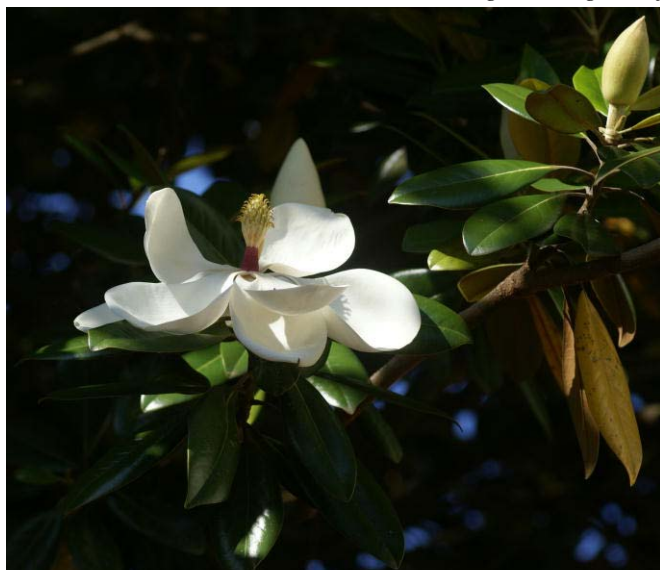
牛久：学校周辺に見る自然

第25号 牛久二中、中根小

2010年7月6日発行

<タイサンボク：モクレンの仲間の常緑樹>

タイサンボク（モクレン科）*Magnolia grandiflora*



↑ タイサンボクのつぼみ(右)と花(左) 6/16 牛久二中

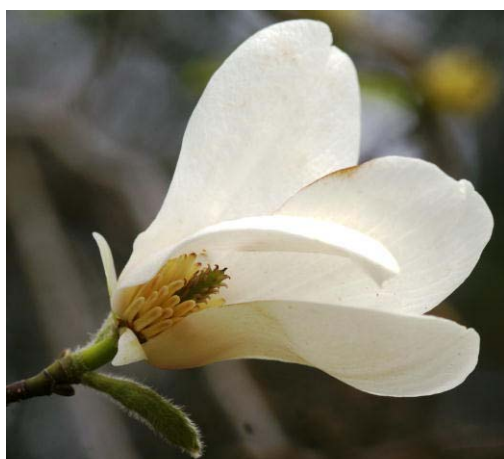


2008/6/19 中根小

中根小校庭西側のウサギ小屋の近くに、そして牛久二中体育館とプールの上に背の高い、大きな厚い葉っぱをつけた木があります。そしてその大きな葉がぐるっと羽根車のように並んだ上に、これまた大きな花やつぼみがドーンと座^{すわ}っていて、

今年は5月下旬から始まり現在も次々と咲いています。北米原産の常緑樹(冬でも葉をつけている木)で、コブシやホオノキなどと同じモクレン科、モクレン属というグループに属し、お互いとてもよく似た花をつけます(では、どこが違うか比べてみよう)。

タイサンボクの花を観察してみると、ガクと花弁の区別がつかないの(花被)が



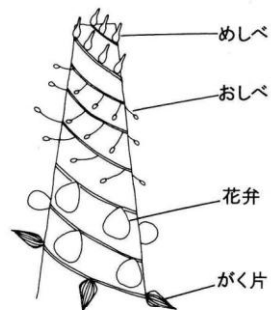
↑ コブシの花 3/23 牛久二中



↑ ハクモクレンの花(上から) 3/23牛久二中

9枚と、その

内側にたくさんの雄しべ、たくさんの雌しべがらせん状に並ぶ原始的なつくりをしています(右図)。



また香りが強く、特に朝夕やくもりの日にはさわ

↑ モクレン科の花のつくり

やかな甘い (『木の見かた、楽しみ方』より)



↑ ホオノキの花 2005/6/3 つくば市

香りが漂い、花粉を運んでくれる昆虫を引き寄せ

せます。中根小 4年生の校庭観察(6/24)のときには、落ちていた花びらをちぎっても、落ちていた花の軸を折ってもカンキツ系の清々しい香りがしましたね。ただし昆虫の食料となるのは花粉で、蜜は出しません。なお、和名(日本での呼び名)泰山木は、花や葉が大きいのをほめたたえてつけられたものだそうです。

【理科支援員：宮内】